

令和7年度事業計画並びに収支予算

令和7年度の事業計画並びに収支予算は、第171回理事会及び第153回評議員会において決定されましたのでお知らせいたします。

1 令和7年度 事業計画

① 基本方針

当協会は、定款第3条において「福島県下における健康保険、厚生年金保険の被保険者および被扶養者、並びに国民年金の被保険者の福利を増進し、社会保険の趣旨の普及に関する事業を行い、社会保険制度の円滑な運営に寄与することを目的とする。」と規定しています。この目的を達成するため、次の活動を実施します。

①情報共有と連携

「機構・福島県内年金事務所」や「協会けんぽ」と積極的に情報を共有し、社会保険制度の普及・宣伝に取り組みます。
また、会員事業所の被保険者等の福利厚生向上にも努めます。

②重点事業の実施

「事務講習会」「広報活動」「社会保険制度の普及」を中心に活動を進め、会員事業所の健康づくりにも積極的に取り組みます。

③デジタル化の推進

会員事業所へのサービス向上と事務の効率化のため、デジタル化を推進し、迅速で便利な対応を実現します。

④委員会との連携

事業実施に際しては、各委員会と協力しながら進めます。

⑤外部組織との連携

全社連や他の都道府県社会保険協会と連携し、会員サービスの向上と協会の組織強化を目指します。



② 会議等の開催

- | | |
|------------------------------|---|
| ① 理事会 → 年3回 (5月、12月、3月) | ⑤ 四者協議 → 年4回
(福島県社会保険協会、日本年金機構、
協会けんぽ福島支部、社会保険委員会連合会) |
| ② 評議員会 → 年2回 (5月、3月) | ⑥ 支部事務局長会議 → 年1回 (2月) |
| ③ 各支部理事会・評議員会 → 各支部の計画に基づき開催 | ⑦ 支部ヒアリング → 年1回 (1月) |
| ④ 「社会保険ふくしま」編集委員会 → 年1回 (2月) | |

③ 具体的事業

① 事務講習会事業

- 算定基礎届等講習会(算定基礎届・月額変更届等・労働保険の手続等) → 6月18日～6月26日の間に、年金事務所が所在する市で開催
- 社会保険事務講習会(社会保険制度等) → 10月～11月に、県内11会場で12回開催
- 年金セミナー(年金請求間近の方を対象) → 9月に、県内を対象に郡山支部管内4会場で開催

② 広報事業

- 時報「社会保険ふくしま」の発行 → 1.発行は、奇数月に年間6号を発行
2.記事は、社会保険制度や事務手続き等及び協会事業のご案内と結果報告等を掲載
- ホームページの活用 → 1.会員専用ページによる情報提供
a.施設優待事業のID・パスワードの掲載 b.「社会保険実務の手引き」掲載
c.「月刊社会保険」掲載
2.各種事業のご案内と参加申込書等周知と結果報告
3.社会保険制度に関する最新の情報提供等
日本年金機構、健康保険協会、全国社会保険協会連合会のホームページにリンクして、最新情報を速やかに提供
4.健康ふくしまポータルサイトへのリンク
- 「事業のご案内」(令和6年度版)の作成と発行 → 1.4月に全ての会員事業所へ送付
2.ホームページにWeb版として掲載



③ 社会保険制度の普及事業

- 「社会保険実務の手引き」(令和6年度版)の作成・配付 → 1.5月に全会員へ送付
2.ホームページの会員専用ページに掲載
- 「月間社会保険」誌の配付 → 1.配付を希望する社会保険委員会会員に毎月送付
2.ホームページの会員専用ページに掲載
- 「社会保険ダイアリー」の配付 → 当協会役員に配付
- 「社会保険事業功労者優良事業主」の表彰 → 社会保険事業に永年貢献されている会員事業主様を表彰(感謝状と記念品を贈呈)
- 「年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式」の開催 → 日本年金機構県内年金事務所、全国健康保険協会福島支部、福島県社会保険委員会連合会と共催で11月に開催
- 「福島県年金ポスターコンクール」の協賛 → 日本年金機構県内年金事務所で開催する「福島県年金ポスターコンクール」に協賛し、協会長賞を授与するとともに記念品・参加賞を贈呈

④ 福利厚生事業

- 無料入浴券の配付
→ 会員宛に「配付申請のご案内」を4月に送付し、5月末までに配付申請のあった会員に配付。契約施設は県内で14施設(事業のご案内、ホームページ等を参照)
- 「施設利用会員証」を利用した割引サービス
→ 全国社会保険協会連合会が契約している全国のホテルやゴルフ場、スキー場等を優待料金で利用できる施設利用優待事業を実施

⑤ 健康づくり事業

事業所における健康管理・健康増進事業を支援するため次の事業を実施。

- リフレッシュ体操・ヨガ等の実技指導講師の無料派遣 ※ストレッチヨガはインターネット開催をスタート
- 健康講話や個別健康相談を実施する保健師の無料派遣
- 握力計・肺活量等の体力測定器具の無料貸出し
- 健康教材(28タイトルのDVD)の無料貸出し
- 福島県で作成している生活習慣病発症・悪化防止のための動画コンテンツにホームページからアクセス可能

⑥ 各支部事業

各支部において、社会保険制度の周知と会員事業所に勤務する方の健康増進、会員間の交流を促進するため次の事業を実施。

- 研修会・セミナー等の開催
- ハイキング、ボウリング大会、ゴルフ大会、ソフトボール大会、パークゴルフ大会を開催

⑦ その他の事業

- 外部委員等の推薦
 - ① 東北地方社会保険医療協議会(東北厚生局)
 - ② 健康長寿ふくしま会議(福島県)
 - ③ 福島県地域年金事業運営調整会議(日本年金機構)
- 関係団体との連携・協力の強化
- 会員拡大の取り組み強化

2 令和7年度 収支予算

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
1. 正味財産増減の部			
(1) 経常増減の部			
① 経常収益	65,552,000	65,222,000	330,000
(うち会費収入)	63,661,000	63,333,000	328,000
② 経常費用	65,466,000	65,199,000	267,000
㊦ 事業費	42,208,000	41,902,000	306,000
㊧ 管理費	23,258,000	23,297,000	-39,000
経常費用計	65,199,000	65,199,000	0
当期経常増減額	86,000	23,000	63,000
(2) 経常外増減の部			
① 経常外収益	0	0	0
② 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	86,000	23,000	63,000
一般正味財産期首残高	81,895,000	81,532,000	363,000
一般正味財産期末残高	81,981,000	81,555,000	426,000
2. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
3. 正味財産期末残高	81,981,000	81,555,000	426,000

(単位:円)

令和6年度事業実施結果並びに収支決算報告は、5月に開催する第172回理事会並びに第154回定時評議員会で審議されるため「社会保険ふくしま」7・8月号に掲載しご報告する予定です。